

駅南バス路線の震動 対策を早く

佐藤 清治

(問) 2009年(平成21年)12月議会でも取り上げたが、今回の市議選の中でも住民の方々から一日も早い対策を求める声が寄せられている。市の対応は。

(答) 都市建設部長 水道管の布設替え工事とあわせ舗装工事をおこなっていく予定です。現在、布設替え工事の年次計画をたてているところであり、早い地域においては平成24年度から着手すると聞いております。特に震動の激しい箇所につきましては順次補修工事をおこなってまいります。

◆後期高齢者医療保険料の値上げに市の独自対策を
(問) 埼玉県後期高齢者医療制度の保険料が平均3千349円値上げとなった。支払いのために益々生活が厳しいものとなっていく。市として独自の保険料軽減対策を考えるべきではないか。

(答) 市長 法律と条例により広

域連合が保険料を決定し課すことが規定されている。保険料の減免につきましても市町村に権限がありません。市としては被保険者の皆様に理解していただけますよう改正された点や制度の周知につとめてまいります。

◆吉川でのいじめの実態は

(問) 2010年(平成22年)文科省の調査では学校のいじめが6.7%増加したとされている。吉川市の実態はどうか。
(答) 教育長 平成22年度、小学校3件、中学校30件となっております。

「お出かけ難民」を作ってはいけない

小林 昭子

(問) 市内高齢化は着実に進み、車や自転車、バイク等の運転もできなくなっている人も増え、文字通りお出かけ難民が市内に発生していることをどう認識し対応するのか。

(答) 政策室長 昨年度行った交通行動実態調査からも、自ら交通の手段を持たず外出

を控えている市民がわずかながらもいると認識している。市ではこのような状況に対応する為、バス事業者と協議し、比較的路線バスの手薄な東部地域への路線バスの運行を開始しました。この事により、より多くの方々の外に出に寄与できると考えます。

◆放射能第二次除染計画へ

(問) ①通学路沿いの水路の測定は。②用水路はさらいを。③土壌④野菜の測定の対応を。

(答) 政策室長 ①②局的に高い箇所もある。今後詳細に調査し、必要な除染を行う。③埼玉県の土壌調査の結果を見て考える。④今後、借用した分析装置の活用で検査もしてゆく。

◆身近な生活道などの改善を

(問) ①川端地域のしんきぼりと江戸川堤防沿い道路の路面改修②土場369-2地先③三輪野江1308地先④おつかさん通りの歩道西側は⑤中野242-2地先⑥歩道の改修を

(答) 都市建設部長 ④につい

ては平成23年度から東側の改修を行っている。平成24年度から引き続き歩道や側溝改修を行っていく。

水道水フロリデーション 推進は中止を

遠藤 義法

(問) 水道水フッ素化のメリット、デメリットは。①フッ化物は、摂取量が多いと斑状歯などになる。②中止した事例が何カ国かある。日本で19の自治体で実施をめざしたが現在5自治体のみとなっている。③アメリカではフッ素濃度を下げる動きと、世界保健機構では6歳児未満のフッ素洗口は推奨していない。

12月議会で約束した市民の疑問や危険性に対する情報提供の紹介は。

(答) 市長 導入している地域は虫歯が半分減少し、医療費が減っているのがメリットである。水質基準濃度を守ればデメリットはない。中止した国では政治的理由などから医学的に問題があつてやめた国はない。情報はWHOなど正式機関

からのもので、市ホームページなどで知らせている。危険性などについて引き続き紹介していきたい。

(問) 市長は、時期を決めて中止の決断をすべきである。
(答) 市長 これからも議論していきたい。

◆地域公共交通網の整備を

(問) すべての市民が外出できる交通の施策が求められている。バス公共交通網の整備や市民バスの実施、デマンド交通、敬老バス券発行は。
(答) 市長 アンケート調査を基に民間バス事業者と協議をし、路線の充実を図っており、協議会等の設置は考えていない。



公共交通網の整備が求められているが…